

協働の まちづくり 楽校

2021 オンライン特別編②

9月12日(日)の午前中、「協働のまちづくり^{がっこう}楽校」の第2講としてオンライン座談会「子育て語ラッテ。」を開催しました。出席者は、町民、職員、事務局スタッフを合わせて20人でした。

まずは自己紹介。次に小部屋に分かれて子育ての喜びと、不安や悩みについておしゃべり。続いてゲストの櫻井雅美さんからのミニ講座を聞いたあと、再び小部屋に分かれ「武豊がもっと子育てしやすいまちになるため」のアイデアを出し合いました。

大学生、子育て真っ最中のママ&パパ、ベテランママなど…様々な立場の人が楽しくおしゃべり。充実した会となりました！

9月12日(日) 午前 10:00～ オンライン (ZOOM) にて 「オンライン座談会 子育て語ラッテ。」

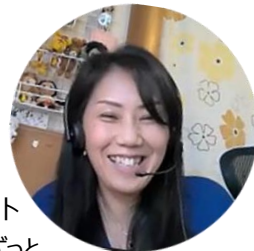
2



おしゃべり小部屋① 「あるある・わかる」

少人数のグループに分かれて、子育ての喜びと、不安や悩みについて、お互いの話を聴き合いました。

喜び	ママ大好きとか ありがとう 言ってもらった時	自分の 知らない世界を 見せてくれる！	いろんな影響を 受けながら 成長する姿	
	自立が 見えてきたとき	自分に似た所を 見つけると うれしい！	下の子が保育園 に行き、時間に 余裕ができてきた	
不安や 悩み		コロナ禍での 子育てと 出産が不安	いい叱り方って 何だろう？	子どもが大きくな って目が届かなくな ったので心配
		見通しが つかない	こう育ってほしい という価値観 との葛藤	困った時に 吐きだせる場所が ないと不安



Smiley Dream 立ち上げの経緯

2000年12月に武豊町で、全国でも大きなニュースになったネグレクト児童虐待死亡事件がありました。18歳の若い夫婦が子育てできず、行政との連携も行き届いていなかった。この報道で一番気になったのが「家では放置、外では笑顔」という言葉でした。この数カ月後、私は自分の子を亡くして、自分の状況とリンクし…単にこの事件を、この人たちの問題だけで済ませてはいけないのではと、Smiley Dream を立ち上げました。

支援+予防のバランスが大事！

Smiley Dream は、武豊高校と役場を結ぶ道の途中にあります。外見は普通の民家。中では、子育て中のお母さんたちのグッズを売ったり、サークル活動をしてみんなが集まっています。「子育てしやすい地域」というのは、支援事業と同時に、今、子育てママさん、サークルの人達がやってくれているような「予防事業」も大切だなと思っています。

子育て支援情報サイト

町からの委託を受けて、「子育て支援情報サイト」を作っています。ホームページで子育て情報を探るのが大変だったり、今日どこか行きたいと思った時に、すぐに情報が入手できて動くことができるといいな！という思いから始めました。

ホームスタート事業

昨年度から新しくスタートしたのが、県からの委託で行っている「ホームスタート事業」。これまで20年活動してきて、ずっと変わらない問題が、家から出られなかったり、支援があっても積極的に利用できなったり、情報を適切に入手できないお母さん達をどう支援していくか、でした。この事業は、こちらから出向いていて話を聞いて、母親に寄り添った支援を行うというものです。

家事や育児のお手伝いをしたり、一緒に出掛けたりするボランティアさんを募集したんですが、このご時世に16名もの応募があった。40時間もの講座を受けてボランティアしてもらうのに、こんなたくさんの方が応募してくれるんだとびっくり。地域にこんなにいい人がたくさんいるんだな、武豊町の未来は明るいぞ！と思いました。

ボランティアさんたちも「すごく楽しかった～」と話してくれていて、ボランティアさんにとっても良い効果が出ていると思います。

私たちが大事にしているのは、子育てが終わってからボランティアする側になるのを待つのではなく、自分の子育てにも役立つように経験と学びの場を提供することで、サポートを受けながら同時に少し若い世代のお母さん達をサポートしていくということ。人の役に立てば、自分の存在価値も見出せるし、時間に余裕ができればボランティアでなく仕事として関わっていくことまでできれば、地域としての支援も途絶えないのかなあ、と思っています。

おしゃべり小部屋②「子育てしやすいまちって？」

「武豊がもっと子育てしやすい町になるためには？」のアイデアを少人数のグループで出し合いました。



パパ参加のイベントが増えるといい	「子育てあるある」みたいに悩みが共有できる場がある	パパママ取扱説明書みたいなのがあると話が弾むかな	親以外の大人と関わるのは大事。斜めの関係は大事
今の時代に合ったつながりを考えていかないと	いろんな世代の人がつながれる、ちょっと休憩したりできる場所	ケーブルテレビとコラボできるといい	車のないお母さん方の移動支援

ホームスタート事業の拡大。民間の支援も強化	自分の子だけでなく誰でも大事にできる雰囲気	ちょっとした情報交換ができる	男性ももっと子育てしやすくなるといい
SNSを活用してどんどん発信。バエる発信を頑張ろう	武豊町ならココ！という遊び場がある	歩きやすいまち	コロナ禍の交流の場



ひとことアンケートより

子育て前の若い人たちが子育て支援やその場に参加することで、予防になることがわかった／立場関係なく武豊町の子育てについて話せる場が創れるってことが分かって嬉しかった／お互いに考え方も環境も異なる中、相手を理解することは容易ではないですが、尊重し合うことの大切さを改めて実感しました。自分と同じように地域（人）を元気にしたいと思っている人と新たに出会い、元気をもらえました ほか

発行 & 連絡先:
武豊町役場 企画部 企画政策課
 武豊町字長尾山2番地
 TEL:0569-72-1111
 FAX:0569-72-1115
 ☒kikaku@town.taketoyo.lg.jp